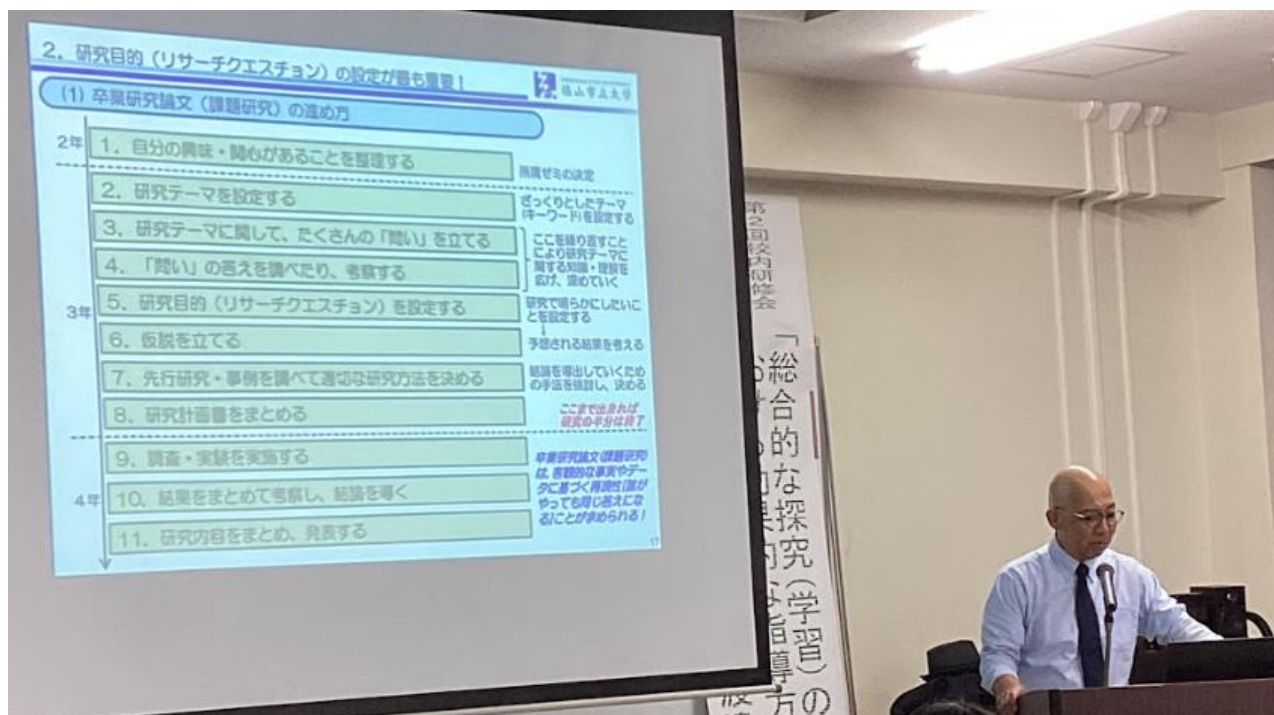


校内研修（総合的な探究の時間における効果的な指導方法を学ぶ）



5月9日(木)、本校で「総合的な探究(学習)の時間における効果的な指導方法」をテーマに、第2回校内研修会を開催しました。講師には福山市立大学の渡邊一成教授(学部長)をお迎えし、探究活動の重要性と適切な指導の在り方について、熱心にご指導いただきました。

研修会では、まず脇谷校長から渡邊教授の紹介があり、続いて中学校・高等学校から、各学年で行われている幅広い探究活動の取組が発表されました。中学校では「個別最適な学び」の枠組みのもと、「My探究」と題した様々なテーマでの探究活動に4年前から取り組んでおり、生徒たちは徐々に成長を遂げています。4年生は「地元探究」として、地元企業や団体と協力しながら、福山市の活性化に向けた探究をしています。5年生は「夢プロ」として、個人やグループで興味・関心と社会課題(SDGs)を関連付けた探究活動に取り組み、6年生は「課題研究」として、各自の進路選択と関連した探究を行っています。

その後の渡邊教授による講演では、探究を進める上で大切な点が数多く提示されました。特に、市立大学の都市経営学部の渡邊研究室で行われている卒業論文の進め方や研究テーマの設定方法を例に、「リサーチエスチョン」の設定の大切さ、「批判的思考」を働かせること、「マジックワード」(抽象的で曖昧な言葉)を具体化することの重要性などを具体的に説明していただきました。また、渡邊教授が指導に入られている岡山県の高校での「地域学」の実践例や、「公的統計データ」の活用方法などについて、わかりやすくご教示いただきました。

その後の質疑応答では、課題設定の困難さや、専門外の指導のポイントなど、教員からの質問に丁寧にお答えいただきました。最後に大町教頭から心からの感謝の言葉が述べられました。

本校では「中高一貫教育」「国際交流」「SDGs(ESD)の推進」などを学校の特色に、探究的な学びを大切にしています。今回の研修で得た知見を生かし、生徒一人ひとりの主体的で自立した学びを更に深化させてまいります。その成果が、将来的に持続可能な社会の発展に貢献できることを願っております。